

12-13で全三井惜敗

全三井・全三菱テニス大会

第六回全三井・全三菱テニス大会が二月三日、東京都西東京市の三菱UJ銀行武蔵野コートで開催された。ダブルス二五試合の結果、全三井は二勝一三敗で全三菱に惜敗。引分け(雨天中止)を挟み、二連敗を喫し、通算の対戦成績は二七勝三三敗四分となった。



秋晴れの下、ダブルス25試合が行われた
(三菱UJ銀行武蔵野コート)

昨年の雨天中止を挟み、二年ぶりに開かれた全三井・全三菱テニス大会。今年も三井系テニスクラブ・浜田山ローンテニス倶楽部の栗岡威会長(元三井住友海上副社長)を全三井代表とし、各社から実業団やOBなど二五組五〇名の精鋭が集まった。一般男子一三、ベテラン(四五歳以上)三三、シニアベテラン(五五歳以上)三三、グランドベテラン(六五歳以上)三、女子三



全三菱の武田代表(左)に優勝カップを渡す全三井の栗岡代表(右)

のダブルス二五試合を行い、一三勝以上したチームを勝ちとする。試合形式は三セットマッチ。ファイナルセットは一〇球先取のマッチタイブレーク方式。幹事会社は全三井、当番幹事は三井住友海上とエームサービス。

一昨年に六勝一九敗の大差で敗れた雪辱を期す全三井は日本リーグにも出場する実業団の海上やエームを中心に有力選手を選抜。全三菱も明治安田生命や東京海上日動三菱商事、三菱電機など実業団を主力とする必勝の構えで臨んだ。

序盤、全三井はベテランが全勝し、3-0と幸先の良いスタートを切

る。その後、全三菱も徐々に取り返し、両グループは中盤まで互角の戦い。グランドベテランに出場している七三歳の栗岡会長も貴重な勝ち星を挙げ、ベテラン三クラスでは5-4と勝ち越し、勝負の行方は一般男子と女子に託された。

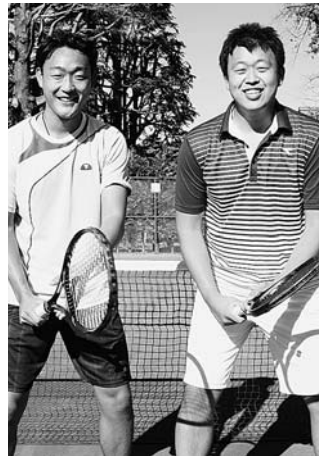
男子は実業団から六組を出場させた海上が奮起。第一複の会田・加藤組、第二複の遠藤・小堀組、第三複の沼野・諱組が全三菱の強豪を下した。

このまま勢いが続くかと思われた全三井だが、第一複男子は終盤まで黒星が続き、4-9で大敗。全三

井は女子のエーム組、海上組が3-0で勝利し、三菱の親睦を深めた。全三井栗岡威代表(三菱商事OB)「この大会は昔から接戦ばかり。今年で六勝差が開いたが、次回も接戦を期待したい」

全三井のエースダブルス

加藤 大地 さん 会田 翔 さん



名誉ある全三井の第一複を務めた会田さん(三〇)と加藤さん(二八)は同組。動の田川・井上組。一セツト目は序盤に4-0とリードしたものの、タイブレークの末に逆転を許した。流れが変わりやすいのがダブルス。逆に流れを取り戻すこともできる」と会田さん。加藤さんは精神的なダメージはあったが、日本リーグでもよくある場面と気持ち切り替えた。二セツト目は6-3で取り返し、セットオールに両グループを代表する先鋒戦として会場の注目を集めるなか、二人はその流れを譲ることなく、ファイナルも10-7で勝ち切った。

会田さんは「日本リーグを前に自信に繋がると良い試合運び。周囲の目もプレッシャーだった(笑)」、加藤さんは「慶応テニス部の大先輩の栗岡さんの前で負けると恐いので、緊張感があった(笑)」と振り返る。大会は惜しくも敗れたが、二ヶ月開幕の日本リーグに向けて弾みをつけた三井住友海上。七大会ぶりの決勝トーナメント進出に期待がかかる。

試合結果(全三菱13 - 全三井12)

- (一般男子：4勝9敗)
- 田川・井上(日動) ● ○会田・加藤(海上)
 - 高山・野田(明治) ● ○遠藤・小堀(海上)
 - 加藤・目黒(マテ) ● ○沼野・諱(海上)
 - 大塚・上村(明治) ○ ●大城・渡邊(海上)
 - 星村・細江(明治) ○ ●沓脱・栗谷(不動産)
 - 渋谷・岩崎(明治) ○ ●由井・飯島(海上)
 - 市川・井上(UFJ) ○ ●大谷・細貝(銀行・エーム)
 - 有松・巽(マテ) ○ ●鍛代・上林(エーム)
 - 干場・尾形(明治) ○ ●佐々木・箭柏(物産)
 - 塚本・関水(UFJ) ● ○手嶋・境野(海上・ユニシス)
 - 國盛・藤原(郵船) ○ ●原田・菊池(生命)
 - 五島・齊藤(商事) ○ ●福原・高村(海上)
 - 平尾・藤山(日動) ○ ●藤原・森(物産)
- (ベテラン：3勝0敗)
- 三重野・井出(明治) ● ○斉藤・矢野(不動産・銀行)
 - 田賀・鈴木(商事) ● ○成川・神山(信託)
 - 高橋・永松(明治) ● ○佐々木・奥山(海上・ユニシス)
- (シニアベテラン：1勝2敗)
- 佐々・坂野(UFJ) ○ ●田中・小林(銀行・信託)
 - 山室・岡田(海上) ○ ●笹島・瀬戸(銀行)
 - 松岡・木村(電機) ● ○小松・宇佐川(物産・信託)
- (グランドベテラン：1勝2敗)
- 武田・加藤(商事・電機) ○ ●酒井・中田(不動産・鉦山)
 - 藤井・田中(電機・重工) ● ○栗岡・赤毛(海上・日トレ)
 - 小野・金子(硝子) ○ ●早川・森永(化学)
- (女子：3勝0敗)
- 本郷・森(明治) ● ○根本・坂本(エーム)
 - 前原・高松(UFJ) ● ○田村・中山(エーム)
 - 清水・泉水(日動・明治) ● ○安形・林(海上)

三井札幌会が「三井の広場」

札幌の三井系44社450名集う



④「三井の広場」は8年連続で出演となる地元アイドルグループの「フルーティー」、⑤市町村応援シンガーの「ハンバーガーボーイズ」も初登場

北海道札幌市の三井系親睦団体「三井札幌会」は十一月五日、「札幌パークホテル」で毎年恒例の会員企業の集い「三井の広場」を開催した。当日は地元の三井系四四社から約四五〇名が参加し、交流を深めた。



④開会にあたり挨拶する札幌丸井三越・栗原社長、⑤中締め挨拶する三井物産の能登谷北海道支社長

三井札幌会は札幌を拠点とする三友会で、一九八二年から本格的に活動を展開。札幌の三井系の親睦や連携に資することを目的に活動している。

開会にあたり、まず今年度の「三井の広場」の実行委員長会社「札幌丸井三越」を代表して栗原憲二社長が挨拶。続いてサッポロビール、三井不動産

さらに地元育成型のアイドルグループ「フルーティー」も八年連続で出演。ステージ前には参加者が集まり、会場は一体となつて盛り上がった。余興後は会員各社から一六〇点を超える提供品の抽選会が行われ、日本製粉の高級「バスター」レガロやデンカの化粧品「URUO」、三井不動産の「三井カード」ホテル札幌宿泊券などの賞品が贈られた。最後は三井物産北海道支社長「能登谷淳支社長が中締めを行い、今年も三井の広場は盛会の一途に閉幕した。

エームサービス

坂本 明香 さん 根本 咲菜 さん



全三井女子の第一複を担った坂本さん(二二)と根本さんは、二人は専修大意識した。根本さんは「明香さんのストロークを生かして、私のボレーを打ちたい」と臨んで決めた」と臨んだ。

全三井女子の第一複は明治安田生命の本郷・森組。坂本さんは「日本リーグの前哨戦。横浜のホームコートをし、白星を飾った。二人は、二セット目はお葬式だったが(笑)、競った試合を勝ち切ったのは大きい。(秋)の全国実業団優勝の勢いで日本リーグも決勝トーナメントに進出する」と意気込む。昨年は予選敗退のエーム。実業団テニスの最高峰でどこまで実力を示せるか。

